

新垣集落の^{みどころ}スポット

★印は、中城村教育委員会からの提供写真です。

新垣の石橋

村指定建造物



マップ①

村内で唯一の貴重な石橋



中城村で唯一残るアーチ形の石橋で、歴史的見地からも当時の石造技術を知るうえでも貴重な石橋です。

この石橋は若南川により分断された地域の不便さを解消しようと昭和17年頃、石工の伊佐山戸氏が徴兵で男性があまり残っていなかった中、老人や婦人とともに亀甲墓の技術を応用して造ったといわれています。

県道開削記念碑

村指定史跡



マップ③

県道開通に大きな喜び



かつて新垣は交通が不便で人々は大変困っていました。その状況に伊佐善則親子は道路開通を計画し奔走しましたが父親善則氏は実現の前に他界。息子善俊氏は父の夢を実現するため、校長を辞め県議会議員となり多難を乗り越え昭和7年に県道普天間与那原線の開通を実現させました。

碑は開通に尽力した親子の努力を讃え昭和9年に建立されました。

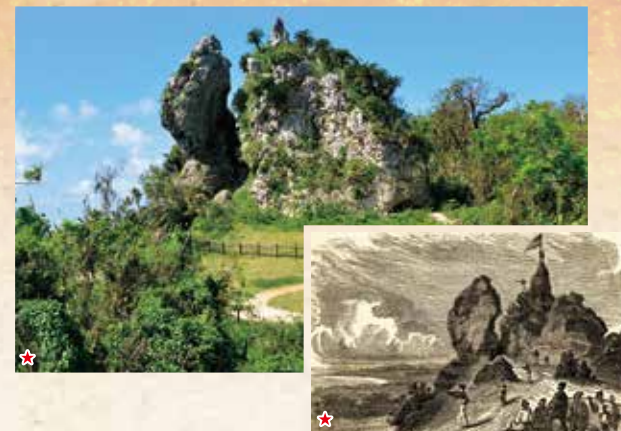
ペリーの旗立て岩

村指定史跡



マップ⑥

琉球王国時代末期の中城の風景とは



ハイネが残したスケッチ

1853年米国ペリー提督の艦隊が日本へ開国を求める航海の途中で琉球に寄港した際、沖縄島調査のため探検隊を編成し那覇から中北部まで足を運びました。

中城ハンタ道の途中でこの大岩を見つけた一行は岩山頂上に旗を立て祝砲を打ち鳴らし「旗岩(Banner Rock)」と名付けました。調査隊のハイネのスケッチが残されています。